

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0500

令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	国際成人力調査		担当部局	総合教育政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	調査企画課	調査企画課長 枝 慶	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等				
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進		主要経費	その他の事項経費			
施策	13-2 国際協力の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-42.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	OECD(経済協力開発機構)では、成人が社会生活を送る上で求められる技能を測定する「国際成人力調査(Programme for the International Assessment of Adult Competencies:PIAAC)」を実施している。本事業は、この調査に参画することを通じて、国際機関が実施する国際的な取組に貢献するとともに、我が国の教育の成果を国際比較により把握し、今後の生涯学習や学校教育施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的としている。加えて、本事業を継続的に実施することで、国際機関における我が国のプレゼンス向上を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	令和4年9月から令和5年にかけて、第2サイクルの本調査が行われた。国立教育政策研究所の担当研究員が、国際コンソーシアムの協力のもと、住民基本台帳から無作為に調査対象者を抽出し、調査を実施した。知識をどの程度持っているかではなく、課題を見つけて考える力や、知識・情報を活用して課題を解決する力など、実社会で生きていく上での総合的な力のことを「成人力」として位置付けている。成人力について、多数の国々が参加して国際的に比較調査する機会はPIAAC以外にない、成人力について日本の現状を把握する上で貴重な資料となるものである。□						
事業概要 (5行程度以内)	国際成人力調査は、OECDが開発した、成人(16歳～65歳)を対象とした「読解力」「数的思考力」「ITを活用した問題解決能力」及び調査対象者の属性を把握する調査である。日本を含む第1サイクルの第1グループ(24か国・地域)の結果は平成25年10月に公表され(第1回報告書)、第2グループ(9か国)の結果については平成28年6月に公表された(第2回報告書)。現在は、令和4年に本調査が行われた第2サイクルに関し、我が国の教育施策の検討・立案に資するものとなるようOECDへ協力している。本調査が我が国にとって有益なものとなるよう、調査に必要な経費の一部を拠出するとともに、調査の実施方法や結果の活用方法等を決定するための参加国会合へ出席する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/data/Others/1287165.htm						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	64.1	63.2	66.4	72.1	74.7
		執行額(G)	59.9	59	63		
執行率(%) =(G)/(F)	93%	93%	95%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	93%	93%	95%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	国際交流・協力推進費			OECD拠出金の増、及び航空費等の上昇。		
	(目)	ユネスコ事業等拠出金	65.9	67			
	(目)	職員旅費	3.9	5			
	(目)	庁費	2.3	3			
	(目)	その他	▲ 0				
	計(A)	72.1	74.7				

活動内容① (アクティビティ)	住民基本台帳から無作為に抽出された日本国在住の16-65歳の個人を対象に、読解力、数的思考力、状況の変化に応じた問題解決能力等について調査する。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	調査の公表	調査報告書あるいはテーマ別報告書の刊行数	活動実績	回	5	5	5	-	-
当初見込み			回	6	5	5	5	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	調査結果が、OECDが発行する教育や経済に関連する報告書・刊行物等において公表され、分析に使用されることで、PIAAC調査に対する認知度が高まり、調査結果利用者が増加する。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
	調査結果の利用の推進	HPアクセス件数	成果実績	件	2,674,069	2,874,346	2,921,662	-	
			目標値	件	2,700,000	2,700,000	2,700,000	3,000,000	
達成度			%	99	106.5	108.2	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省ホームページの各統計情報へのアクセス件数 e-Statの文部科学省所管統計のページへのアクセス件数								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	調査結果利用者が増え、国際教育統計の重要性が高まり、今後も調査を実施するために分担金を拠出する。分担金を拠出することにより、国連関係機関での我が国の国際的なプレゼンスの向上にも寄与する。国際的なプレゼンスの維持向上を評価するため、全職員数に占める邦人職員数の割合を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	(1)②未来投資戦略に掲げた2025年までに国連関係機関の邦人職員数を1,000人とする目標に向けた水準(3.1%(1,000人/国連関係機関職員総数約32,000人))を超えているところ、直近過去5年間の最高水準(4.64%、JPOを含む)を目標値とする。	全職員数に占める邦人職員数(専門職以上、JPOを含む)の割合	成果実績	%	4.3	3.9	3.7	-	
			目標値	%	4.6	4.6	4.6	4.6	
達成度			%	93.5	84.8	80.4	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	外務省調べ 調査事務局の邦人職員数を設定するのが望ましいが、本事業により拠出している国際成人力調査参加国会合(PIAAC)は、業務内容が限定的であり、職員数も限定されているため、邦人職員数を成果目標とすることは適当でない。よって、PIAACに限らず全職員数に占める邦人職員数を目標とする。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								



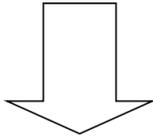
※令和4年度実績を記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省  
<63百万円>

本省執行分  
職員旅費 0.9 百万円  
庁費 2.2 百万円 を含む  
(消耗品等の購入)

国際成人力調査の実施に当たり、枠組みの検証や  
開発等に我が国の意向を反映するために必要な調整



【拠出金】

(A) OECD(経済協力開発機構)  
<59.9百万円>

国際成人力調査の開発等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
(「資金の流れ」において  
ブロックごとに最大の金  
額が支出されている者につ  
いて記載する。費目と  
使途の双方で実情が分  
かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
ユネスコ事業等拠出金	国際成人力調査の開発等	59.9			
計		59.9	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	OECD(経済協力開発機構)	-	国際成人力調査の開発等(拠出金)	59.9	その他	-	-	